

民報 ゆうばり

広島・長崎原爆写真展開催

「ひどいねえ」「苦しかったらろうねえ」「怖いから帰ろう…」

「づなづな」記憶と記録そして平和 広島・長崎「原爆写真展」開催

8月8日から10日までの3日間、清水沢研修センターにおいて「づなづな」記憶と記録そして平和「原爆写真展」が開催されました。広島、長崎に原子爆弾が投下された当時のすさまじい様子をとおさめた写真が展示されました。

主催したのは、原子育て支援サークルの協力を得て10団体の組織で、短期間の準備で開催にこぎつ

爆写真展実行委員会（明日の平和をつくり出す夕張の会・新日本婦人の会・夕張教職員組合・夕張労働組合総連合・夕張退職者教職員ねんりの会・夕張年金者組合・夕張平和フォーラム・ゆうばり女性9条の会・ローカルユニオン夕張）で、

学校を通じて「原爆写真展」のお知らせ「ばり」に折り込み、市内全戸配布も実現しました。

「ひどいねえ、苦しかったらろうねえ」と口々に漏らす方や、ハンカチを目頭に当てながらじつくり



取りつけ、育委員会の後援を

「原爆写真展」のお知らせ「ばり」に折り込み、市内全戸配布も実現しました。

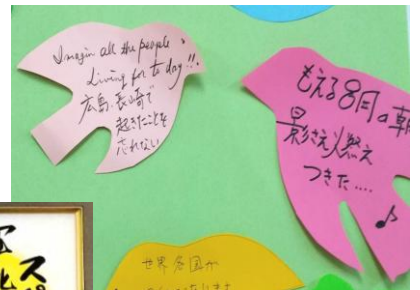
「ひどいねえ、苦しかったらろうねえ」と口々に漏らす方や、ハンカチを目頭に当てながらじつくり



と見て回る方、「怖いから早く帰ろう」と子どもさんに促される方等々。

実行委員 会では、来場した市民に、メッセージを書いたり、祈りの鶴を折るワークショップ

コーナーを設けること



ささげていました。三日間の来場者は約二百名。成人だけではなく、幼児から小中高生までの姿があり、核兵器廃絶への願いは繋がっていたように思いました。



会場には、「日本国憲法前文」や夕張市の平和宣言

平和への意識化も図っていただきました。

また、9日の長崎の原爆記念日には、実行委員で平和への祈りを

「広島平和宣言」・「長崎平和宣言」、また、夕張市議会の「日本国憲法第9条改正に反対する意見書」・「核兵器禁止条約に速やかに署名し批准することを求める意見書」、さらに、昨年の雪月花展で掲示された「スパイクが軍靴に替わることなかれ 高校球児の入場行進」（滑川昌子さん作）の額も掲示されました。



「ひどいねえ、苦しかったらろうねえ」と口々に漏らす方や、ハンカチを目頭に当てながらじつくり

夕張・今そこにある危機の一面 地域課題としての文化財危機 ―夕張の歴史遺産の現状と今後の保存を考える―

8月17日、日本キリスト教会夕張教会において、第74回鹿ノ谷ゼミナールが開催され、約30名が参加しました。

テーマは、夕張の歴史遺産の現状と今後の保存を考える―というもので、夕張市内の石炭博物館の模範坑火災、採炭求国（進発）鉱夫像の劣化、鹿鳴館転売、楓坑繰込み所（北炭楓発電所）倒壊、など産業遺産のさまざま



まな危機状況や、夕張市の文化財について主催の青木隆夫さんが説明した後、会場に集まった人たちから様々な発言がありました。

芦別の博物館館長長谷山さんは、「炭鉱が無くなった後、標高300メートルの町がよく生き残った建物はいつか壊れる運命。博物館は文化財を保管するのが仕事だが、全部は無理。選ぶしかない。国の重要文化財にすべきだったが、時すでに遅し。」「千鳥が滝を国の天然記念物にして、予算を獲得してはどうか」と述べ、他の参加者からも、「文化遺産は地域の誇り」と、それぞれの地域の文化遺産についての発言が続々と出され、地域の歴史遺産について全体で考える機会となりました。



くずさんの 夕張歴史散歩(118)

明治維新34／朝鮮植民地支配 ⑩

下関条約とは

日清戦争後、日本政府は「下関条約」を結び、清国を追い詰めます。

その主な内容は、①遼東半島、台湾およびその諸島、澎湖列島などを日本に割譲する。②賠償金を洋銀二億両に割譲する。③沙市、重慶、蘇州、杭州を通商港とする。④

日本が通商港に工場をつくり中国内地に運ぶ場合、内地税を免除する。などで、清国では馬関条約と呼び「南京条約」以来、最悪の不平等条約といわれました。

三国干渉とは 何だったのか

かねてからイギリス・フランス・アメリカ・ロシアなど列強諸国は、インドや東アジアに進出していましたが、そこに日本帝国が新たに加わった事で好機と捉え、自らの野望の実現のために利用します。

これらの政略は、日清戦争後も日本を自由勝手にはさせず、ドイツ・ロシア・フランスによる三国干渉をおこすのです。すなわち、各国がそれぞれ理由を付け、租借地として独占的占領を行うのです。

たとえば、1897年(明治30年)冬、ドイツ宣教師二人が農民を騙したため、怒りを買って殺害されます。『これを聞いたヴィルヘルム二世は喜んでいった。「待ちに待った理由と事件が我々に与えられた。」と。彼はすぐにドイツ極東艦隊にむけ、膠州湾に急行するよう命じた。』*

自国の宣教師が殺されたのに、これを喜んで占領・租借の理由にするのです。

*は、史家でもあるK氏が、中国の歴史を研究し「中国高等学校歴史教科書」から年表を作成しました。そこからの引用です。



岩淵 友「国会かけある記」
参議院議員
岩淵 友

心通い合う共闘

参議院選挙後の新しい国会。ある野党統一議員の方と名刺を交換したとき、「共産党のみなさんにはお世話になりました。選挙中、どこでも一番前で熱烈に応援してくれたのが共産党の方たちでした」と声をかけられました。とても嬉しい。東日本大震災で延期になった地方選挙が岩手、宮城、福島で相次いで行われています。8月16日に告示となった仙台市議会議員選挙。仙台市は2年前に市民と野党が力をあわせて、郡和子市長を誕生させ、それまでの自民党市政では実現しなかった要求が少しずつ実現しはじめています。郡市政の最大与党は日本共産党。野党議員が圧倒的に多いなかで、郡市政を支える議員を増やして市政を前に進めるのか、自民・公明の妨害を許すのかが問われています。日本共産党は現有6議席から8議席への議席増に挑戦します。全体でも与党議員を増やそうと、共産、立憲、国民、社民の候補者が集まる市民のつどいが開催されました。さらに、参議院選挙で市民と野党の共闘で勝利した石垣のり子参院議員が日本共産党の候補も含めて応援に入っており、私も個人演説会で一緒に訴えました。市政でも国政でも心通い合う共闘が進んでいることを実感しています。

参議院選挙での民意を踏みにじって、改憲、消費税増税を強行しようとする安倍政権。参議院選挙に続いて審判を下すチャンスでもあります。共闘をさらに進めて、政治を動かしていく。そのため力を尽くしたいと思います。